



コーヒー ブレイク

Coffee Break

弁護士ワールドカップ!!

会員 塩澤 彰也 <52期>

私の趣味は、サッカーである。

小学校3年生のときから20年程やっており、各時代に思い出があるが、弁護士になってからのサッカーが一番楽しい。

◎ ◎ ◎

小中高校時代、同じ部活の仲間内では足が遅い方だったため、私は、ディフェンダーをやることが多かった。

ところが、弁護士になってからは、若いということもあり、相対的に瞬発力があるということで、フォワード(トップ)をやることも多くなった。それにより、得点を取る機会も増え、サッカーの楽しみが増えたのである。

◎ ◎ ◎

月に2度程、弁護士サッカーの東京チームで他の社会人チームや修習生と試合を行っており、毎回非常に楽しんでいるが、特に楽しいのは、弁護士全国大会、弁護士日韓戦、弁護士ワールドカップである。

現在、福岡、広島、大阪、京都、名古屋、静岡、横浜、東京の8チームで毎年秋に、弁護士サッカー全国大会が行なわれている。20歳そこそこの修習生から50歳くらいの方まで一堂に集まって行なわれるのである。修習生時代一緒にサッカーをやっていた現在は地方で弁護士をやっている友達に会ったり、いつも一緒にやっている仲間とトーナメントを勝ち抜いて優勝を狙う楽しさはまた格別のものがある。

弁護士日韓戦は、4年前から始まり、毎年春に、日本と韓国交互で行なわれている。韓国での開催から始まって、東京、韓国、大阪ときて、来春は、韓国の済州島で行なうことが予定されており、今から楽しみである。昼は国の威信をかけて(?)真剣に戦い、夜は韓国特有の飲み比べで戦い、顔見知りになった韓国の弁護士さんとメール交換をしたり、これこそ国際交流だなどと思ったりしている。

そして何より、弁護士ワールドカップである。2年に1度行なわれ、私は、前回のマルタ大会と今回のハンガリー大会に出場しているが、この楽しさは何物にも代えがたいものがある。

◎ ◎ ◎

今回のハンガリーでの大会は、6月上旬の8日間で7試合が行なわれ、事務所を7日程休ませていただいていた楽しんできた。全国の弁護士から有志が参加するのだが、事務所の許可がなかなか下りない人もいれば、時差ぼけ解消のためのヨーロッパでの事前合宿及び、弁護士ワールドカップ終了後にポルトガルでユーロ2004(ヨーロッパ選手権)の試合を見るため、事務所を2週間以上休む凄い方も…。

今回はヨーロッパのチームを中心に42チームの参加であった(アルゼンチンや中国も参加)。日本のチームは過去4回の大会では決勝リーグに進むことができなかったが、今回、初めて予選を勝ち抜いて決勝リーグに出場した。

引き分ければ突破が決まる予選最終戦で、0対0のロスタイムに1点入れられ、相手のイタリアのチームが大喜びした1分後、私のシュートで1点入れ返し、その瞬間終了のホイッスルがなったときは、帰りの飛行機が落ちてもいいとまで思った。試合終了後の日本ベンチはお祭り騒ぎで、汗まみれにもかかわらず、いい年をした男たちが抱きあって喜んだ。



2002年マルタ大会。前列左から3番目が筆者